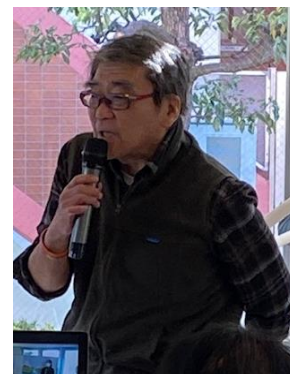


元旦の能登半島地震、そして翌2日の羽田空港での航空機衝突事故。騒然とした年明けとなった2024年ですが、第110回「ほほえみ交流カフェ」が1月9日（火）に開催されました。

参加者は	シニア	17名
	講演	4名
	中川ケアプラザ	2名
	葛が谷ケアプラザ	1名
	スタッフ	10名
	計	34名

冒頭、小泉代表からの被災、事故に遭遇された方へのお悔みとお見舞いの言葉に続き、当日皆さんからいただいた参加料の全額を能登半島地震の被災者への義援金として寄付したい旨の提案があり、満場一致で賛同いたしました。（当日のメインイベント”ポリスじろう”さんのステージを手配いただいた”I love つづき”さんとポリスじろう御本人からもご厚意をいただきましたので、併せて義援金とさせていただきます。有難うございます）



さて”ポリスじろう”さんの登場です。お笑い芸人さんとして忙しく活躍されている合間を縫ってのステージ。流石、プロです。登場と同時に会場の雰囲気を一気に盛り上げます。

「認知症&予防カフェ」でのステージでもあり、会場のシニアの皆さんを漫才の相方として募るという意表をついた演出です。まずこれに応えた男性参加者。いやあ驚きました。掛け合いの妙はまるで長年コンビを組んでいるかのような軽妙な遣り取りで会場を沸かせます。

続いて女性を相方に指名してのネタは、「相方女性のお連れ合い」。いつもは夫婦で参加されますが、当日は偶さかお独り。欠席裁判となったお連れ合いには些か気の毒でしたが、これまた”じろう”さんもタジタジの名芸人ぶりを披露いただきました。



最後は昔話「桃太郎」を題材に即興パロディ漫才を女性、そして男性参加者と演じました。

「昔あるところに おじいさんとおじいさんがいました。おじいさんは山に柴刈りに、もう一人のおじいさんは川にBBQにいきました。すると 川上から大きな”もも肉”がドンブラコ・ドンブラコと流れて来ました・・・」



参加者一同新年の初笑いを大いに楽しみ、最後は”じろう”さんと記念写真をパチリ。
“じろう”さん 素敵なショータイム有難うございました。これからも応援しています。



続いて、“I love つづき”のメンバー活動の傍らで数々のステージをこなしておられるシンガー”渡辺麻衣”の歌声です。
曲は讃美歌の名曲”Amazing Grace”(アメイジンググレイス)です。
アカペラ（無伴奏）の澄んだ歌声に聞きほれました。 アンコールにも応えていただき、会場は”上を向いて歩こう”の合唱で大いに盛り上がりました。渡辺さん有難うございました。

お次は、スタッフの佐藤さんとお母様による三味線民謡です。 90歳を迎えられた母上は益々意気軒高。見事なバチさばきと歌声の指導の下で、“黒田節” “武田節” “斎太郎節” “秋田大黒舞”を参加者全員で歌いあげました。大きな声を出すことが健康維持の秘訣ですね。



そして、参加者リーダーの”この頃思っていること”。 AI 全盛の世の中で、情報は簡単に手にはいるが、反面、人がものごとをじっくり考えなくなったと感じる。難しい時代をどう生きるか。「夜も寝て考えた。何でも受け入れながらも、自分の芯を失わないことが大事」そうですね。 はなから反発や無視しては身体がもちません。まずは「そういう考えもあるよね」受け流しながらも自分の依って立つものを失わないとでもいうことでしょうか。間違っていたらごめんなさい。筆者も今夜寝ながら考えます。



最後は、体操リーダーの指導の下、寝正月で鈍った足腰中心に運動不足を解消しました。締めはいつものとおり、「ふれあい丘の街」を全員で合唱してお開きとしました。次回は2月6日です。 お楽しみに。